

科目名称	成人看護学実習（慢性期・終末期）
授業コード	BK371
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	寺門 亜子, 大釜 信政, 武田 清香
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	この実習では、慢性・長期的な疾患や障害のある患者の病態、治療および、患者・家族が病とともに生活することによって生じる日常生活への影響を理解する。 また、患者・家族が慢性・長期的疾患や障害とともに生活するために必要となるセルフケア行動を習得し、患者が自分らしく生活するために、支援者として患者の尊厳と権利を擁護し、より良い関係を形成しながら支援ができる看護実践能力を養う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	この実習では、看護師としての臨床経験のある教員が実習指導を行う。
到達目標	この科目は、「専門科目 看護の実践（成人看護学）」に関する科目の一つである。本科目では、カリキュラム・ポリシーに掲げる「多様な健康レベルや生活状況を考慮し、人間関係を形成しながら看護実践を学ぶために臨地実習科目を配置する。」に基づいて、ディプロマ・ポリシー「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得する」を目指し、以下の6つを達成目標とする。 1. 患者の病態や治療について理解し、病態や治療、検査に伴う症状の管理、苦痛や不安を緩和するための援助ができる。 2. 患者が慢性・長期的な疾患や障害をもちながらも病状を安定させ、自分らしく生活するための看護計画の立案ができる。 3. 患者・家族の発達段階、価値観や信念、生活習慣を理解し、慢性・長期的な疾患や障害をもちながらも病状を安定させ、自分らしく生活するための援助ができる。 4. 患者・家族が経験している病の体験を共有し、慢性・長期的な疾患や障害をもちながら生活する人やその家族の精神状況を理解し援助できる。 5. 慢性・長期的な疾患や障害をもつ人が活用できる社会資源（人的・物的・制度など）を検討できる。 6. チーム医療の中で看護専門職者として連携、協働し、また学習者として求められる基本的態度や倫理観を身につけることができる。
計画・内容	2024年9月24日～2025年1月24日 1クール目 2024年9月24日（火）～2024年10月4日（金）計90時間 実習施設：東京臨海病院、東京山手メディカルセンター 担当教員：大釜、寺門、新任教員 看護師  2クール目 2024年10月21日（月）～2024年11月1日（金）計90時間 実習施設：東京臨海病院、東京山手メディカルセンター 担当教員：大釜、寺門、新任教員 看護師  3クール目 2024年11月11日（月）～2024年11月22日（金）計90時間 実習施設：がん・感染症センター都立駒込病院 担当教員：大釜、寺門、新任教員 看護師  4クール目 2024年11月25日（月）～2024年12月6日（金）計90時間

計画・内容	<p>実習施設：がん・感染症センター都立駒込病院 担当教員：大釜、寺門、新任教員 看護師</p> <p>5クール目 2024年12月9日（月）～2024年12月20日（金）計90時間 実習施設：がん・感染症センター都立駒込病院 担当教員：大釜、寺門、新任教員 看護師</p> <p>6クール目 2025年1月14日（火）～2025年1月24日（金）計90時間 実習施設：東京臨海病院、獨協医科大学埼玉医療センター 担当教員：大釜、寺門、新任教員 看護師</p>
授業の進め方	<p>1. 受け持ち患者について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慢性・長期的な疾患や障害のある成人期にある患者を受け持つ。</li> <li>学生の受け持ちに承諾が得られた患者を対象とし、実習期間中に、学生1名につき患者1名を受け持つ。</li> </ul> <p>2. 実習指導体制</p> <p>実習指導体制は、基本的には学生5～6人に対して教員（非常勤教員を含む）1人を配置し、教員（非常勤教員を含む）および病棟看護スタッフの指導を受けながら、受け持ち患者の看護を展開する。</p>
能動的な学びの実施	<p>情報収集、アセスメント、看護診断、看護計画の立案・実施・評価を行っていくため、自発的に実習に取り組むことが求められる。</p> <p>学生主導のカンファレンスを行う。</p>
授業時間外の学修	<p>指示された事前課題を行うこと。事前課題は、計画を立てて領域実習開始までに終わるようにすること。</p> <p>実習中は、実習スケジュールに沿って看護過程を展開できるようタイムリーに記録を行うこと。行動計画は、援助の根拠・留意点、受け持ち患者のニーズに基づいて具体的に記載すること。実習中は記録の整理や疾患や検査などの学習に2～3時間必要である。</p>
教科書・参考書	<p>成人看護援助論 ・ 、専門基礎科目（生体機能学、栄養代謝学、病態治療学、臨床薬理学、臨床検査など）の教科書や講義資料を活用すること。</p>
成績評価方法と基準	<p>事前課題、実習における看護援助・カンファレンスの出席状況、実習に取り組む姿勢や態度等55%、実習記録45%</p>
課題等に対するフィードバック	<p>必要に応じて、その都度、口頭もしくは実習記録へのコメントの付与によってフィードバックする。</p>
オフィスアワー	<p>CampusSquareを参照</p>
留意事項	<p>感染症発生状況等により、スケジュールが変更になる可能性がある。その際は、別途、お知らせする。</p> <p>実習2週間前から健康観察シート（成人看護学実習用）に体温等を記載すること。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>非対面となった場合は、対面およびzoom等を活用した双方向型の遠隔形態により実習を進める。また、その際の成績評価は、学内実習への参加態度40%や提出された実習記録50%、事前課題10%の遂行状況等を基に行う。</p>